

## 年頭のごあいさつ

新しい年を迎えるにあたり、山梨予備校で学ぶ皆さんに、どこにあるのか誰も知らない校長室よりごあいさつを申し上げます。

年末年始も関係なく、受験勉強に取り組んでいる毎日と思います。この勉強は必要に迫られてやむなくするもの、さらに、受験が終われば、忘れてしまっていていい程度の勉強、などと思ってはいけません。それは間違った思い込みです。

古文単語を覚え、昔の人の心情を想像する。歴史上のかけがえのない出来事を学び、過去の人に敬意を払う。数や図形の問題を解き、世界のしくみの奥深さに心を開く。これは、人として穏やかに生きる、ごく普通の姿なのです。

共通テスト、私立大・国公立大入試の本番が近づいています。これまで培ってきた力を存分に発揮しなければ、と身構えがちですが、力をつけていく日頃の過程で迎える入試本番という感覚がふさわしいのでは、と私は思います。

こんなに緊張する日々を経験することは、人生の中でもそう多くありません。不安に満ちたスタートであっても、振り返ってみれば、令和5年という年が皆さんにとって生涯忘れられない、思い出に残る一年になることを願っています。

私は今、確かに生きている（人として穏やかに生きている）、という実感を持ちつつ三か月を駆け抜けてください。先回りしてする心配よりも、結果を全て受け入れる覚悟、その覚悟が良い結果を連れてきます。皆さんの健闘をお祈り申し上げます。

令和5年 元旦

山梨予備校 校長室より

(元旦も校長室にいるのか？ それは疑問ですけど……)